

平成25年9月30日

各位

国際警備保障株式会社
朝日生命保険相互会社

～介護に関するサービス・取組み

朝日生命
介護あんしん
サポート

に新たなコンテンツを追加～

「緊急通報サービス」の提供を開始 国際警備保障

国際警備保障株式会社(代表取締役社長 徳田穂積、以下:国際警備保障)は、朝日生命保険相互会社(代表取締役社長 佐藤美樹、以下:朝日生命)と提携し、平成25年10月1日より、朝日生命のお客様を対象に「緊急通報サービス」の提供を開始します。

サービス概要

①緊急通報

利用者にペンダント形の「救急ボタン」を携帯していただき、体の具合が悪くなった際に、救急ボタンを押すだけで警備員がご自宅に駆け付けます。

②ライフリズム監視

在宅中に一定の時間が経過してもトイレのドアが開閉されなかった場合等に通報されます。ご利用者のライフリズム監視の経過報告等はご家族に電話で通知いたします。

③住宅用火災監視

火災やガス漏れ等を感知して、警備員がご自宅に駆け付けます。

※②・③はオプション。

サービス名称等

国際警備保障のサービス名称等は以下のとおり。なお、当該サービスは朝日生命の職員を通じて、お客様に提供いたします。

サービス名称	「コールス」
展開地域	近畿圏の一部地域
月額利用料金	3,000円(税込み)
利用対象者	朝日生命の既契約者ならびにその家族
朝日生命お客様特典	月額料金2ヶ月無料(朝日生命職員を経由した申込に限る)

※当サービスの内容については、将来、予告なく、変更または廃止することがあります。

導入に至った背景

超高齢社会である我が国では、65歳以上高齢者の総人口に占める割合は24.1%^{※1}に達し、この傾向は今後さらなる拡大が見込まれています。また、高齢者の世帯を家族類型別でみると、「ひとり暮らし」高齢者の増加が顕著であり、2010年の29.7%から、2030年には37.7%^{※2}にまで上昇すると見込まれています。

かかる長寿命化ならびに家族構成の変化を踏まえ、高齢者を対象とした「緊急通報サービス」は、高齢者本人が抱える不安や、遠方に住むご家族の心配に対するソリューションの一つになるサービスとなっています。また、朝日生命調査^{※3}においても、介護の専門家「ケアマネジャー」が最も魅力を感じるサービスとして回答しています。

国際警備保障は、高齢者が安心して暮らせる社会づくりへの貢献を目的として「朝日生命介護あんしんサポート」と提携しています。今後もより適切なサービス・取り組みの提供に努めてまいります。

※1. 出典：総務省統計局「人口推計（平成24年10月1日現在）」

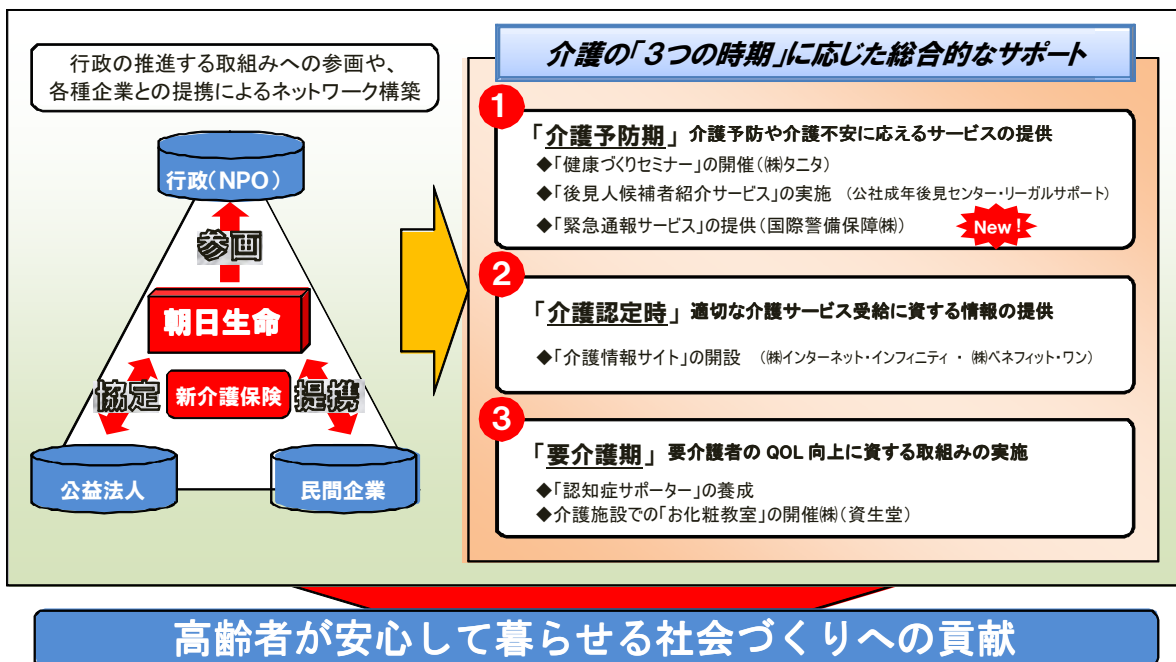
※2. 出典：内閣府「高齢社会白書」平成23年

※3. 朝日生命「要介護認定後の暮らし」と「民間介護保険に対する意識」に関する実態調査 平成25年8月

【参考①：国際警備保障 会社概要】

会社名	国際警備保障株式会社	売上高	89億1,516万円(2012.8実績)
所在地	大阪市北区東天満 1-5-12	創立日	昭和42年7月11日
資本金	2億7,787万5,000円	代表者	徳田 穂積

【参考②：朝日生命介護あんしんサポート】



以上